

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照ください。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 1回線送電線のため
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 #4 ループ系統を構成して単純な制御が困難なため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
2	函館線	66	2	402	201	熱容量	201	0	不可 #4	—	
3	函館線	66	2	316	158	熱容量	158	0	不可 #4	—	
4	函館線	66	2	316	158	熱容量	158	0	不可 #4	—	
5	函館線	66	2	100	50	熱容量	50	0	不可 #4	—	
7	上磯西線	66	2	112	56	熱容量	56	0	不可 #4	—	
8	上磯西線	66	2	112	56	熱容量	56	0	不可 #4	—	
9	上磯西線	66	2	112	56	熱容量	56	0	不可 #4	—	
10	他社支線	66	2	—	—	熱容量	58	0	—	—	◇
11	清水川支線	66	2	112	56	熱容量	57	0	可	56	
14	大野南線	66	2	338	169	熱容量	169	0	不可 #4	—	
15	上磯線	66	2	402	201	熱容量	201	0	不可 #4	—	
16	上磯線	66	2	286	143	熱容量	143	0	不可 #4	—	
18	昭和地中線	66	2	146	73	熱容量	15	0	不可 #4	—	
19	石川地中線	66	2	98	49	熱容量	59	0	可	49	
21	他社線	66	2	—	—	熱容量	34	0	—	—	◇
22	東雲西地中線	66	1	56	56	熱容量	56	0	不可 #4	—	※1
23	中の橋地中線	66	2	114	57	熱容量	57	0	不可 #4	—	
25	東雲地中線	66	1	70	70	熱容量	70	0	不可 #4	—	※1
27	末広地中線	66	2	66	33	熱容量	41	0	可	33	
29	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	11	0	—	—	◇
30	北七飯地中線	66	1	—	—	熱容量	44	0	—	—	◇
31	他社支線	66	2	—	—	熱容量	60	0	—	—	◇
32	湯川支線	66	2	316	158	熱容量	177	0	可	100	
33	湯川支線	66	2	238	119	熱容量	134	0	可	100	
34	東山中支線	66	2	116	58	熱容量	63	0	可	58	
37	柏木線	66	2	106	53	熱容量	68	0	可	53	
39	銭亀沢線	66	2	74	37	熱容量	32	0	可	37	
40	銭亀沢線	66	2	60	30	熱容量	20	0	可	30	
41	他社支線	66	2	—	—	熱容量	27	0	—	—	◇
43	川汲線	33	1	16	16	熱容量	9	0	不可 #1	—	※1
45	戸井線	33	1	11	11	熱容量	6	0	不可 #1	—	※1
47	恵山線	33	1	11	11	熱容量	10	0	不可 #1	—	※1
55	七飯支線	66	2	90	45	熱容量	37	0	可	45	
57	大沼線	22	1	11	11	熱容量	6	0	不可 #1	—	※1
59	大沼線	22	1	7	7	熱容量	4	0	不可 #1	—	※1
61	磯谷線	22	1	7	7	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
63	磯谷線	22	1	—	—	熱容量	3	0	—	—	◇
70	八雲1号線	66	1	52	52	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
71	八雲1号線	66	1	45	45	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
72	八雲1号線	66	1	45	45	熱容量	13	0	不可 #1	—	※1
73	森1号支線	66	1	—	—	熱容量	27	0	—	—	◇
74	八雲1号線	66	1	45	45	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1
77	八雲2号線	66	1	52	52	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
78	八雲2号線	66	1	52	52	熱容量	18	0	不可 #1	—	※1
79	森2号支線	66	1	—	—	熱容量	31	0	—	—	◇
80	来馬線	66	1	15	15	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
81	来馬線	66	1	15	15	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
82	来馬線	66	1	15	15	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
85	美利河支線	66	1	23	23	熱容量	18	0	不可 #1	—	※1
86	長万部線	66	1	39	39	熱容量	37	0	不可 #1	—	※1
90	相沼内線	33	1	—	—	熱容量	6	0	—	—	◇
91	今金線	33	1	15	15	熱容量	2	0	不可 #1	—	※1
93	瀬棚線	33	1	17	17	熱容量	1	0	不可 #1	—	※1
95	大成線	33	1	13	13	熱容量	2	0	不可 #1	—	※1
101	江差線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
102	江差線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
103	江差線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
104	江差線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
105	江差線	66	2	90	45	熱容量	15	0	可	45	
106	他社支線	66	1	—	—	熱容量	39	0	—	—	◇
107	他社支線	66	1	—	—	熱容量	22	0	—	—	◇
108	他社支線	66	1	—	—	熱容量	21	0	—	—	◇
111	石崎線	33	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #1	—	※1
113	鹹川線	66	1	21	21	熱容量	1	0	不可 #1	—	※1
115	桧山線	33	1	13	13	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
121	熊石線	33	1	13	13	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
123	桧山線	33	1	—	—	熱容量	8	0	—	—	◇
124	他社線	66	1	—	—	熱容量	84	0	—	—	◇
125	福島線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	

24北七飯・大野系統空容量一覧表

126	福島線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
127	福島線	66	2	90	45	熱容量	12	0	可	45	
128	福島線	66	2	90	45	熱容量	10	0	可	45	
129	福島線	66	2	—	—	熱容量	45	0	—	—	◇
130	木古内支線	66	2	90	45	熱容量	45	0	可	45	
131	湯の里支線	66	2	44	22	熱容量	23	0	可	22	
135	松前支線	66	2	110	55	熱容量	20	0	可	55	
137	他社送電線	66	1	—	—	熱容量	40	0	—	—	◇
138	福島線	66	2	90	45	熱容量	0	0	可	45	
140	渡島当別線	33	1	8	8	熱容量	5	0	不可 #1	—	※1
151	八雲2号線	66	1	52	52	熱容量	18	0	不可 #1	—	※1
152	八雲2号線	66	1	52	52	熱容量	18	0	不可 #1	—	※1
153	他社支線	66	1	—	—	熱容量	52	0	—	—	◇
154	他社支線	66	1	—	—	熱容量	52	0	—	—	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
1	北七飯変電所	187	66	3	300	198	熱容量	198	0	可	100	※2
6	函館変電所	66	6.6	3	50	30	熱容量	15	0	不可 #3	—	※2
12	清水川変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	8	0	不可 #3	—	
13	上磯変電所	66	33	1	6	6	熱容量	2	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	12	6	熱容量	3	0	不可 #3	—	
17	七重浜変電所	66	6.6	3	40	20	熱容量	10	0	不可 #3	—	※2
20	石川変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	
24	中の橋変電所	66	6.6	3	50	30	熱容量	15	0	不可 #3	—	※2
26	東雲変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	0	不可 #3	—	
28	末広変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	10	0	不可 #3	—	
35	東山変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	
36	湯川変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	
38	柏木変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	0	不可 #3	—	
42	銭亀沢変電所	66	33	2	20	10	熱容量	0	0	可	10	
		66	6.6	1	10	10	熱容量	8	0	不可 #3	—	※1
44	川汲配電塔	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
46	戸井変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
49	恵山変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
56	七飯変電所	66	22	2	20	10	熱容量	5	0	可	10	
		66	6.6	2	17.5	7.5	熱容量	0	0	不可 #3	—	
58	軍川変電所	22	6.6	2	9	3	熱容量	0	0	不可 #3	—	
60	鹿部変電所	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
62	磯谷川第二発電所	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
75	森変電所	66	6.6	3	30	20	熱容量	8	0	不可 #3	—	※2
76	落部変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
87	八雲変電所	66	33	1	20	20	熱容量	7	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	20	10	熱容量	9	0	不可 #3	—	
88	ピリ力発電所	66	6.6	1	1.5	1.5	熱容量	1	0	不可 #3	—	※1
89	長万部変電所	66	6.6	1	10	10	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
92	今金変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
94	北松山変電所	33	6.6	2	12	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	
100	大野変電所	187	66	3	300	191	熱容量	191	0	可	100	※2
109	厚沢部変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
110	江差変電所	66	33	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	1	10	10	熱容量	9	0	不可 #3	—	※1
112	上ノ国変電所	33	6.6	1	10	10	熱容量	4	0	不可 #3	—	※1
114	鹹川変電所	66	33	1	20	20	熱容量	4	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	12	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	
120	相沼内変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
122	熊石変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
132	木古内変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
133	湯の里変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	※1
134	福島変電所	66	6.6	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #3	—	※1
136	松前変電所	66	6.6	1	10	10	熱容量	4	0	不可 #3	—	※1
141	渡島当別変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1